

日本のデザインを語る

デザインミュージアムの在り方を考える

カンファレンス

日時：令和5年3月17日(金) 14:00～17:00

場所：国立新美術館 講堂（オンライン配信あり）

主催：経済産業省デザイン政策室

協力：公益財団法人日本デザイン振興会 | 公益財団法人日本博物館協会 | 日本デザイン団体協議会  
(D-8) | 一般社団法人 Design-DESIGN MUSEUM | 2025年日本国際博覧会とともに、地域の未来社会を創造する首長連合

## 開催趣旨

日本には、企業やデザイナー等が創意工夫を積み重ね、私たちの生活の課題を改善したり、気持ちを前向きにしたり、社会を豊かにしてきたもの・ことが全国各地に（時には人知れず）存在しています。この多くのデザイン資源をこのままにしておいて良いのでしょうか。どのように可視化し、つなげ、活用していけば、地域の活性化、未来の日本の、未来の子ども達のためになるのでしょうか。

我が国の発展に貢献してきた工業製品や生活用品など様々なデザイン資源を所蔵する施設を、プロダクトデザイン、グラフィックデザイン、パッケージデザインを軸に抽出した経済産業省の調査を基に、これまで長年必要性が議論されながらも実現に至らないデザインミュージアムの在り方について、デザイン資源を保有する当事者である美術館、博物館、企業、デザイン業界団体、美術大学、自治体等関係者が一堂に会し、各地に存在するデザイン資源の活用の方向性と共に検討します。

## プログラム 敬称略 | 五十音順

- 14:00 開会挨拶 経済産業省
- 14:03 ご挨拶 板倉 寛 (文化庁文化経済・国際課長)
- 14:06 ご挨拶 逢坂 恵理子 (国立新美術館館長)
- 14:10 基調講演「いま改めて考える日本のデザイン資源 (仮)」  
(齋藤精一 | パノラマティクス主宰)
- 14:25 調査紹介「デザイン資源を所蔵する全国の施設調査」  
(下藤菜々子 | 経済産業省デザイン政策室) (山越理央 | 三菱総合研究所)
- 14:45 休憩
- 14:55 トークセッション「全国各地のデザイン資源と我が国におけるデザインミュージアムの可能性」  
モデレータ：齋藤精一 (パノラマティクス主宰)、原川宙 (経済産業省デザイン政策室)  
登壇者：五十嵐哲也 (山梨県産業技術センター)、植木啓子 (大阪中之島美術館)、久保田 大輔 (特許庁審査第一部 意匠課)、倉森京子 (Design-DESIGN MUSEUM)、洪恒夫 (日本デザイン団体協議会)、布垣直昭 (トヨタ博物館)、半田昌之 (公益財団法人日本博物館協会)、平芳幸浩 (京都工芸繊維大学美術工芸資料館)、宗村泉 (印刷博物館)、矢島進二 (日本デザイン振興会)
- 16:55 閉会挨拶 俣野 敏道 (経済産業省デザイン政策室長)
- ※閉会后、名刺交換等、交流のお時間とします (対面参加者のみ | 17:45 頃まで)

基調講演 「いま改めて考える日本のデザイン資源（仮）」



齋藤 精一 さいとう せいいち

パノラマティクス主宰

建築デザインをコロンビア大学建築学科 (MSAAD) で学び、2000年からニューヨークで活動を開始。2006年株式会社ライゾマティクス(現:アブストラクトエンジン)を設立。社内アーキテクチャー部門『パノラマティクス』を率い、行政や企業の企画や実装アドバイザーも数多く行う。2018-2022年グッドデザイン賞審査委員副委員長を歴任。2025年大阪・関西万博 EXPO 共創プログラムディレクターに就任。

五十嵐 哲也 いがらし てつや

山梨県産業技術センター 主幹研究員 | 博士(情報科学)

山梨県郡内織物産地の技術・デザイン面からの振興、ヤマナシハタオリトラベルなど産地振興プロジェクトの立ち上げ支援、デジタルジャカード技術に関する研究開発と商品化支援、山梨のデザイン資源をデジタル化しオンラインで活用可能とする YAMANASHI DESIGN ARCHIVE の構築に参画。



植木 啓子 うえき けいこ

大阪中之島美術館 学芸課長

サントリーミュージアム『天保山』に在職中、「マッキントッシュとグラスゴー・スタイル」「ジャン・ヌーベル」「レイモン・サヴィニャック」「純粋なる形象ーディーター・ラムスの時代」等、主にヨーロッパの建築・デザイン展を企画・担当。2012年に大阪市立近代美術館建設準備室に移籍。インダストリアルデザイン・アーカイブズ研究プロジェクト等、企業、行政、大学等とのデザイン連携と場の創出に従事。

久保田 大輔 くぼた だいすけ

特許庁 審査第一部 意匠課長

1997年、意匠審査官として特許庁入庁。特許庁意匠課企画調査班長、意匠制度企画室室長、意匠審査企画官、環境・基盤意匠上席総括審査官を経て現職。『『デザイン経営』宣言』を公表した「産業競争力とデザインを考える研究会」の事務局や、令和元年意匠法改正を担当。





## 倉森 京子 くらもり きょうこ

一般社団法人 Design-DESIGN MUSEUM 代表理事

一般社団法人 Design-DESIGN MUSEUM 代表理事として、国立デザインミュージアム設立に向け機運を高める活動を推進。リアルやオンラインでのトークイベント開催に加え、2020年よりNHKの番組+展覧会プロジェクト「デザインミュージアムジャパン」に企画協力。国立新美術館における「デザインミュージアムジャパン展」(2022年)では、トークイベント「国立デザインミュージアムを作るには？」を主催(同展は2023年より JAPAN HOUSE を巡回)。

## 洪 恒夫 こう つねお

株式会社丹青社 エグゼクティブ クリエイティブディレクター  
東京大学総合研究博物館 特任教授  
日本デザイン団体協議会 (D-8) ジャパンデザインミュージアム設立研究委員会 委員長

丹青社にて諸施設の企画・デザイン・プロデュース、空間デザイン等に携わると共に、東京大学総合研究博物館教員を兼務し、展示やミュージアム等の可能性についての実践的な研究を実施。日本デザイン団体協議会 (D-8) の「ジャパンデザインミュージアム設立研究委員会」委員長をつとめ、デザインミュージアム実現のための活動を推進。



## 布垣 直昭 ぬのがき なおあき

トヨタ自動車(株)社会貢献推進部長 | トヨタ博物館 館長 |  
富士モーターズスポーツミュージアム 館長

1982年、京都市立芸術大学美術学部 意匠工芸科プロダクトデザイン専攻を卒業。同年、トヨタ自動車(株)に入社。以来、約30年間クルマのデザイン部門に携わる。新コンセプト車の商品化に多く関わり、チーフデザイナーとして、ハリアー(初代)、アルテッツァ、イストなどを担当。デザイン開発を通してクルマのさまざまな歴史や文化を見てきた経験から、2014年よりトヨタ博物館館長として自動車文化発展に尽力。

## 半田 昌之 はんだ まさゆき

公益財団法人 日本博物館協会 専務理事

1978年から2015年にかけて「たばこと塩の博物館」で学芸員、学芸部長、首席学芸員を歴任。在籍中には、特別展「20世紀デザインの旗手レイモンド・ローウィ」等を担当。2011年より日本博物館協会専務理事に従事。2016年よりICOM(国際博物館会議)日本委員会事務局長に就任。その他、文化審議会博物館部会臨時委員、NPO法人博物館活動支援センター理事等を拝命。専門は産業技術史及び企業博物館論。





## 平芳 幸浩 ひらよし ゆきひろ

京都工芸繊維大学デザイン・建築学系 | 美術工芸資料館 教授

国立国際美術館主任研究員を経て現職。専門は近現代美術。美術工芸資料館では、主に近代ポスターコレクションの調査研究・企画展示を担当。主な著書として、『マルセル・デュシャンとは何か』(河出書房新社、2018年)、『日本現代美術とマルセル・デュシャン』(思文閣出版、2021年)、『現代の皮膚感覚をさぐる 言葉、表象、身体』(編著、春風社、2023年)などを執筆。

## 宗村 泉 むねむら いずみ

凸版印刷株式会社 印刷博物館 副館長

1980年、凸版印刷株式会社入社。広報部を経て98年に印刷博物館所属。2017年から現職。印刷博物館は、凸版印刷創立100周年記念事業の一環として、2000年に開館した企業ミュージアム。印刷の日本史を中心に、世界の印刷文化と歴史、印刷技術を紹介。グラフィックデザインに関する収蔵品を主に、企業ミュージアムとして各種展覧会を実施。



## 矢島 進二 やじま しんじ

公益財団法人日本デザイン振興会 常務理事

1991年から現職。グッドデザイン賞をはじめ、東京ミッドタウン・デザインハブ、東京ビジネスデザインアワード、地域デザイン支援など多数のプロモーション業務を担当。武蔵野美術大学、東京都立大学大学院、九州大学大学院、東海大学で非常勤講師勤務。毎日デザイン賞調査委員を歴任。『事業構想』でビジネスデザイン、『先端教育』で教育、WEBメディア『ここ』で福祉とデザインをテーマに連載を執筆。

## 山越 理央 やまこし まさお

株式会社三菱総合研究所 シニアプロジェクトマネージャー

デザイン・クリエイティブ領域における同社の研究チーム「DESIGN×CREATIVE TEAM」の代表を兼務。「我が国の新しいデザイン政策」の研究(経済産業省デザイン政策室)、グッドデザイン賞のコロンビア共和国への制度輸出検討(経済産業省通商政策局)、日本デザイン振興会との共同研究「デザイン経営はビジネスを強くする」等を推進。



## 参加方法

参加（対面参加・オンライン参加含む）をご希望される方は、以下サイトよりお申し込みください。

参加申込： [申込フォーム](#)（日本のデザインを語るデザインミュージアムの在り方を考えるカンファレンス）

回答期限： 3月16日（木）12:00

参加費： 無料

- ・対面参加をご希望される場合は、会場の定員都合により、オンラインでの参加をご案内させて頂く場合がございます。
- ・同一組織から複数名が対面参加される場合でも、お1人ずつお申込みをお願いいたします。
- ・途中でご入室いただいても問題ございません。

## 会場案内

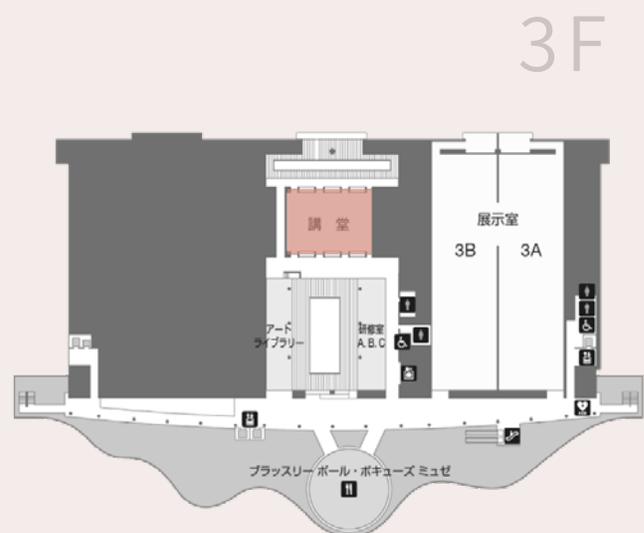
### アクセスマップ



住所 | 〒106-8558 東京都港区六本木 7-22-2

- ・交通の詳細は美術館ウェブサイトをご確認ください。
- ・美術館に駐車場はございません。  
周辺にある有料駐車場をご利用ください。

### フロアマップ



会場 | 国立新美術館 3F 講堂

- ・3階にお越しいただくと、案内がございます。
- ・美術館には無料Wi-Fiサービスがございますが、利用状況により、繋がりにくくなる可能性があります。

## お問い合わせ

株式会社三菱総合研究所 ビジネス・コンサルティング部門

担当者 | 山越・町田・田丸

Email | [design\\_conference@ml.mri.co.jp](mailto:design_conference@ml.mri.co.jp)